

農スクールの問題提起・社会背景

239万人

= 農業者

農業

×

雇用

210万人

= 生活保護受給者

63万人

= 二一ト

ホームレス・生活保護受給者・ニートと農業をつなぐ NPO農スクール



ホームレス、生活保護の方と農業をして気が付いたこと

**人は野菜を育てながら、
実は…
自分自身を育てている。**

本人がもともと持っていた才能を見つける場所にもなる。



適材適所で、農業を職業へ！

【袋詰めする仕事】



体力 ★
スピード ★★★★★
反復練習 ★★★★★
思考 ★
コミュニケーション力 ★

【畑で作業する仕事】



体力 ★★★★★
スピード ★★
反復練習 ★★★★★
思考 ★
コミュニケーション力 ★

【事務所で生産管理する仕事】



体力 ★
スピード ★★
反復練習 ★
思考 ★★★★★
コミュニケーション力 ★★

【畑を案内する仕事】



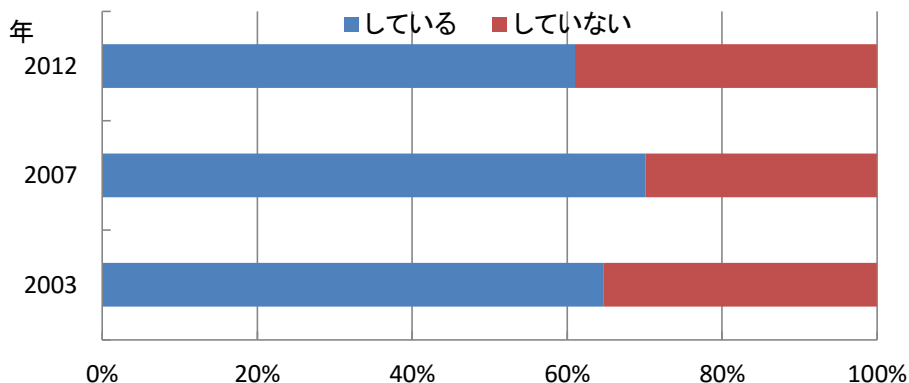
体力 ★★
スピード
反復練習
思考 ★★★★★
コミュニケーション力 ★★★★★

1人1人が、自分の能力を活かし、
人々の命の根源「食」を支える産業へ従事することができる！

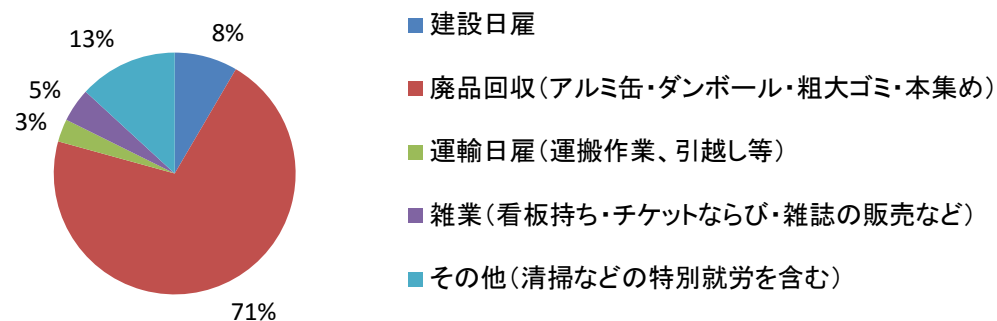
《参考資料1》

路上生活者の潜在的稼働能力

グラフ7 現在の収入のある仕事の有無(※資料9)



グラフ8 現在(2013年)の仕事内容(※資料9)



グラフ7: 路上生活者の6割以上は収入のある仕事をしている。

グラフ8: 路上生活者の仕事は廃品回収が7割を占めている。

路上生活者は究極のワーキングプア

- ・アルミ缶の相場: 1キロ150円 (1個当たり約2円) → 「500個集めて約1000円」
- ・ダンボールの相場: 1キロ6円 (100キロで600円) → 「リヤカーに満載して600円」
- ・1日8～10時間集めて約1000円の収入 → フルタイム勤務で時給約100円！

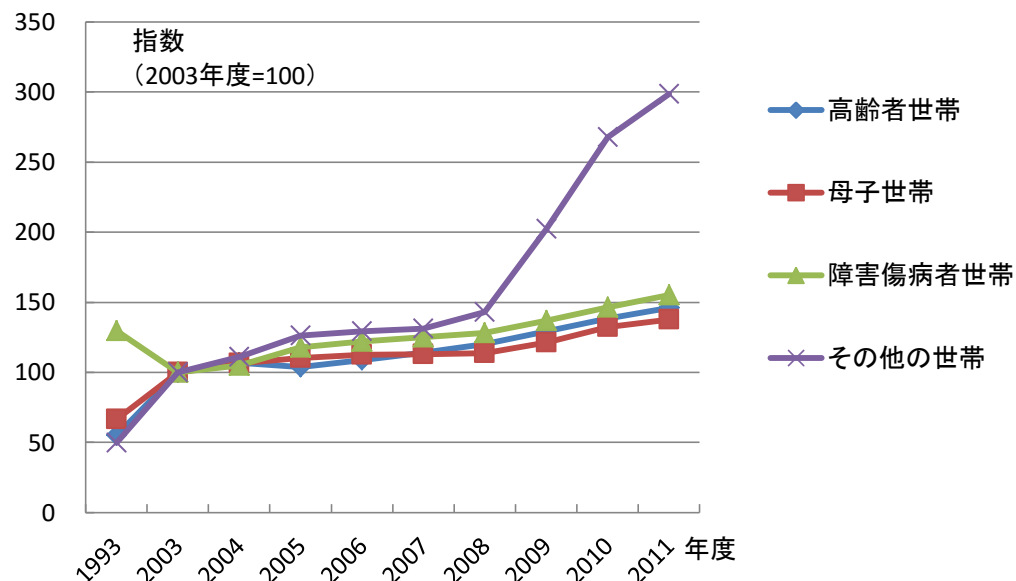
Q: よく「ホームレスは仕事をするのがイヤで外で寝ている」と言われるが・・・？

A: 多くの路上生活者はフルタイムで働いても月収4万円以下の「究極のワーキングプア」！

《参考資料2》

生活保護受給者の潜在的稼働能力

グラフ4 世帯類型別生活保護率の推移(※資料6)



「京都府が生活保護受給者採用へ 全国初、就職研修狙い」

(2013年10月25日付『京都新聞』)

- 京都府が働く意欲があっても就労の機会に恵まれない生活保護受給者を府の臨時職員として採用する方針を決定
- 雇用期間は原則6ヶ月(最長1年間)
- 事務補助作業をしながら、京都自立就労サポートセンターでマナーや職業観の研修を受講する。
- 受給者を対象とした職員採用は都道府県初

グラフ4:生活保護率を世帯類型別に見た場合、(高齢者世帯・母子世帯・障害傷病者世帯ではない)「その他の世帯」での急増が顕著で、2011年には2003年の約3倍にまで増加している。

急増する生活保護受給者の中には約40万人の稼働層が含まれている(※資料8)

ワークシェアリング・新たな雇用の創出による就労機会の拡大を

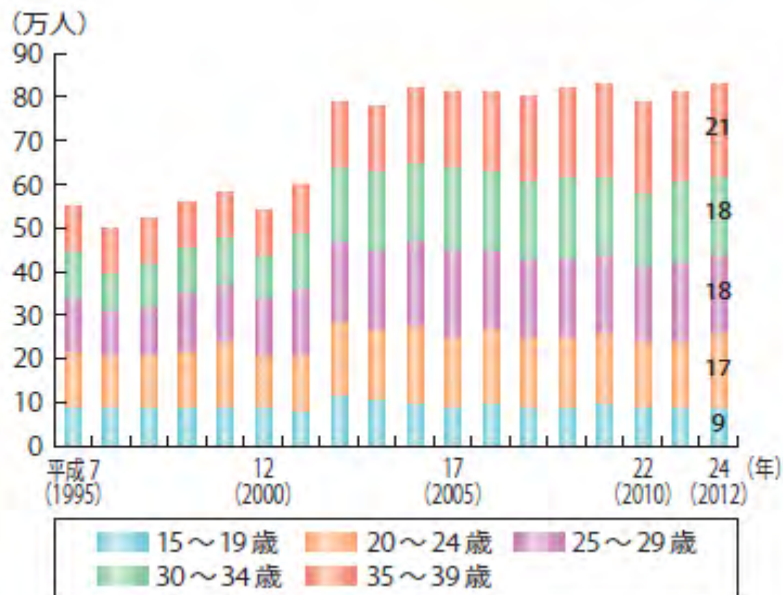
資料6:厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉行政業務報告」および生活保護の動向編集委員会編集「生活保護の動向」

(※2011年度のデータには岩手県・宮城県及び福島県は含まれていない。)

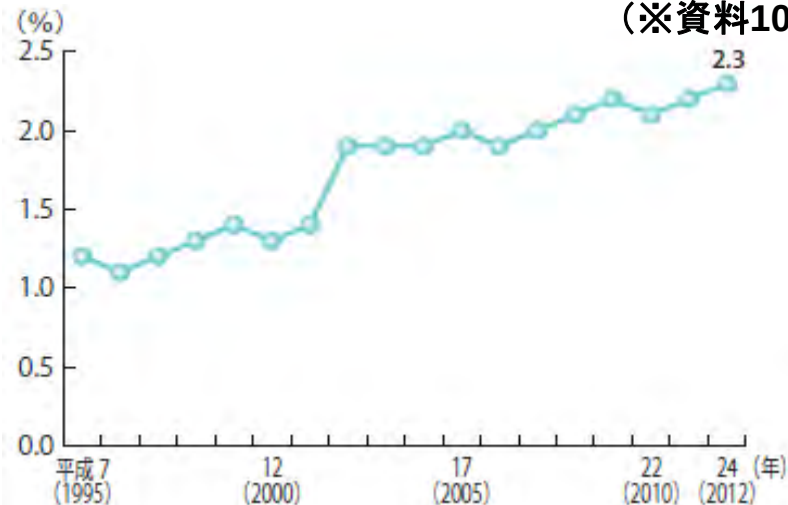
資料8:「増える生活保護受給者「2割が働ける」 厚労省推計」(2012年9月4日付『日経新聞』)

《参考資料3》 ニートの増加

グラフ9 若年無業者数の推移(※資料10)



グラフ10 15～34歳人口に占める若年無業者の割合
(※資料10)



グラフ9:2012年における15歳～34歳の若年無業者(ニート)は63万人に達している。

グラフ10:15歳～34歳の人口に占めるニートの割合は、2012年に2.3%で過去最高水準に。

ニートにいたる主な原因・背景:

①若年失業率の上昇 ②企業の新卒者限定採用 ③メンタルヘルス問題

親世代の定年退職にともないニートへの就職支援の拡充が急務

《参考資料4》

人に社会によい効果をもたらす農業の可能性

園芸福祉とは：

園芸・農業の効用を生活の質の向上・人間の成長の促進などの人間の幸福（福祉）に活用すること（例：市民農園、グリーンツーリズム）

表1 農業・園芸の効用（※資料1）

①生産的効用	収穫の達成感・喜び
②経済的効用	生産物を金銭に換算したときの価値
③心理的・情緒的効用	（共同）作業を通じて得られる自己評価の高まり、連帯感、共通の価値の醸成など
④環境的効用	植物による生活環境条件の緩和・改善
⑤社会的効用	生産物や活動をきっかけとした人間・社会関係の形成・発展・健全化
⑥教育的効用	栽培体験を通じた知識・知恵・思想・文化の伝達（「食育」）
⑦身体的効用	免疫力や体力の回復（リハビリ）・維持・増強
⑧人間的効用	①～⑦の相乗的作用としての癒し、個人的・社会的成長、生活の質（QOL）の向上など

資料1：松尾英輔，「園芸福祉－園芸の療法的活用とリクリエーション的活用－」（『農業および園芸』第88巻第1号，2013年）



「ホームレス農園」河出書房新社

参考文献

資料1: 松尾英輔, 「園芸福祉—園芸の療法的活用とリクリエーション的活用—」(『農業および園芸』第88巻第1号, 2013年)

資料6: 厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉行政業務報告」および生活保護の動向編集委員会編集「生活保護の動向」

(※2011年度のデータには岩手県・宮城県及び福島県は含まれていない。)

資料8: 「増える生活保護受給者「2割が働ける」 厚労省推計」(2012年9月4日付『日経新聞』)

資料9: 厚生労働省「ホームレスの実態に関する全国調査結果」

資料10: 内閣府「子ども・若者白書」(※2011年の数値には岩手県・宮城県及び福島県は含まれていない。)

資料 : 小島 希世子「ホームレス農園」河出書房新社(2014)